

人や社会と共生するシステムを実現するネットワーク ソフトウェア論文特集号 (和文論文誌B)論文募集案内

この一年で通信サービスが“人と人のつながり”や“人や社会とのつながり”を実現できることを改めて認識させられました。例えば、災害時でのtwitterによる情報収集、FacebookやmixiなどのSNSを用いた友達づくり、スマートフォン、センサを用いた見守りサービスなどが現実のものとなっています。またビジネスの世界では、クラウドコンピューティング、M2Mなどの技術が検討され、通信サービスが“これからの社会”の実現の原動力になることが更に期待されています。

通信ソサイエティにおいても、このような人と人、あるいは人と社会の共生の推進を、通信システムがどのように実現していくかの課題について、ネットワークシステムや情報ネットワーク等の第一種研究会はもとより、ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会においても活発に議論が進められています。例えば、サービスのアイデアを早く実現するための手法、“漠然とした不安”を取り除くためのセキュリティ技術、安定したサービス提供のためのシステム設計手法、サービス実現のための新しい方法論などが課題として考えられます。このようなサービスを広く確実なものとするために、ネットワークとネットワークソフトウェア技術の応用によるサービスの設計、開発、評価、運用など技術的課題を研究・技術者間で共有し、これまでのシステム開発のための検討で得られてえられた知見を広く共有することが求められます。このような背景を踏まえ、人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア論文特集号(2013年8月号)を企画しました。本特集では、ネットワークソフトウェアに関連する分野について、理論・実験に関するものはもとよりシステム開発に関する論文を広く求めます。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

次ページを御参照下さい。

2. 論文の執筆と取扱い

- 通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおりhttp://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.htmlを御参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

- **投稿締切:平成24年11月20日(火)厳守**
- 最終判定予定:平成25年4月中旬
- 発行月:平成25年8月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先:電子情報通信学会 編集出版部論文課
〒105-0011港区芝公園3-5-8 機械振興会館
E-mail:wabun-b@ieice.org fax:03-3433-6616

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。
【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、**必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。**

5. 特集編集委員会

【委員長】水野 修(工学院大)

【編集幹事】末田欣子(NTT)宮本大輔(東大)

【編集委員】伊藤篤(KDDI研), 太田 理, 角田良明(広島市大), 加藤圭(OKI), 北形 元(東北大), 中村光宏(富士通), 新津善弘(芝浦工大), 三宅優(KDDI研), 若原 恭(東大)

6. 問合せ先

末田 欣子(NTTネットワーク基盤技術研究所)

E-mail:sueda.yoshiko@lab.ntt.co.jp

tel:0422-59-3036 fax:0422-59-6364



対象分野:

[ネットワークサービスソフトウェア技術]

以下に列挙するネットワークサービスを実現するためのソフトウェア技術:

Socio-Familiar Personalized Service(S-Pサービス), ユビキタスサービス, クラウドコンピューティング, プレゼンス・コンテキストウェアサービス, グループウェア, VoIP(Voice over IP), 通信放送融合, Webサービス, サービス指向アーキテクチャ, サービス連携, コンテンツ配信, ソフトウェア定義ネットワーク, ソーシャルウェア, マルチメディアストリーム, 人と機械の共生, M2M(Machine to Machine), SNS(Social Network Service), RFID(Radio Frequency Identifier)応用サービス

[ネットワーク制御管理ソフトウェア技術]

以下に列挙するネットワーク制御管理技術を実現するためのソフトウェア技術:

SIP(Session Initiation Protocol), QoS(Quality of Service)制御, トラフィック制御, Bandwidth On Demand, ネットワーク品質, ネットワーク管理, ポリシー管理, ネットワークオペレーション, 移動管理

[ネットワークソフトウェア基盤技術]

以下に列挙するネットワーク基盤を実現するためのソフトウェア技術:

ポストNGN, NGN, オーバレイネットワーク, P2Pネットワーク, SDP(Service Delivery Platform), モバイルネットワーク, LTE(Long Term Evolution), 第4世代携帯電話, FMC(Fixed Mobile Convergence), アドホックネットワーク, ホームICT, オフィスICT, センサネットワーク, クラウドネットワーク, CDN(Content Delivery Network), PAN(Personal Area Network), DRM(Digital Rights Management), セキュリティ, 認証, VPN(Virtual Private Network), マルチキャスト, IPv6, ネットワークミドルウェアソフト

[ソフトウェア要素技術]

上記ネットワーク基盤・サービス・制御管理技術を実現するソフトウェアに関する要素技術:オブジェクト指向, アスペクト指向, リファクタリング, モデル駆動アーキテクチャ, コンポーネント指向, リアルタイムソフトウェア, 高信頼ソフトウェア, 高可用ソフトウェア, オープンソースソフトウェア, ネットワーク仮想化, 自己組織化, オープンAPI, 分散オブジェクト, 分散処理プラットフォーム, 通信プログラム言語, 通信OS(Operating System), スクリプト言語, セキュアOS, セキュアプログラミング, エージェント, プログラマブルネットワーク, ソフトウェア発展機構, オントロジー

[ネットワークソフトウェア開発管理技術]

上記ネットワーク基盤・サービス・制御管理技術を実現するソフトウェア開発管理技術:

ソフトウェア品質保証, 仕様記述, 仕様検証, 開発環境, 開発手法, 試験技術, 設計パラダイム, アジャイル開発, テスト駆動開発, ネットワークソフトウェア性能測定・性能向上技術

[その他のネットワークソフトウェア技術]

